



## 平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月7日

上場会社名 株式会社 中北製作所  
コード番号 6496 URL <http://www.nakakita-s.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中北 健一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 林 昌宏

TEL 072-871-1331

四半期報告書提出予定日 平成26年10月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年5月期第1四半期の業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	4,117	△6.2	224	△28.5	271	△23.8	169	△9.2
26年5月期第1四半期	4,389	△2.6	314	75.7	356	55.0	186	263.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	8.98	—	—	—
26年5月期第1四半期	9.76	—	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年5月期第1四半期	24,653	19,093	19,093	19,181	77.5	1,010.10
26年5月期	25,298	19,181	19,181	19,181	75.8	1,014.72

(参考)自己資本 27年5月期第1四半期 19,093百万円 26年5月期 19,181百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
26年5月期	—	7.50	—	12.50	20.00	
27年5月期	—	—	—	—	—	
27年5月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00	

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年5月期の業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,000	△15.9	540	△17.6	600	△20.6	390	△14.9	20.63
通期	18,500	0.6	1,250	△7.4	1,400	△8.4	900	△1.9	47.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	19,164,000 株	26年5月期	19,164,000 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	261,318 株	26年5月期	260,325 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	18,903,178 株	26年5月期1Q	19,143,565 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、世界経済・為替相場変動等の様々な不確定要因により、予想数値と異なる可能性があります。

なお、詳細は(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7
4. 補足情報 .....	8
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における世界経済は、新興諸国における経済成長の鈍化があるものの、米国経済の緩やかな回復に支えられ、全体としては緩やかに回復いたしました。

わが国経済は、政府による経済政策等を背景に、雇用情勢の改善、設備投資にも持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調にありました。

このような経営環境にあつて当社は、主要販売先であります造船業界において積極的な受注活動を展開し、ガスタービン・火力発電用バルブの受注にも注力いたしました。その結果、全体の受注高については、前期実績を上回る成績をあげることができました。

当第1四半期累計期間における受注高は、4,787百万円（対前年同期比8.1%増）となり、357百万円前年同期を上回りました。品種別に見ますと、自動調節弁2,470百万円、バタフライ弁1,075百万円、遠隔操作装置1,241百万円となり、対前年同期比では、それぞれ440百万円増、77百万円増、160百万円減となりました。

売上高では、4,117百万円（対前年同期比6.2%減）となり、271百万円前年同期を下回りました。品種別では、自動調節弁2,207百万円、バタフライ弁956百万円、遠隔操作装置954百万円となり、バタフライ弁、遠隔操作装置については前年同期を下回りましたが、自動調節弁については前年同期を上回る実績となりました。また、輸出関連の売上高は、前年同期を129百万円上回る857百万円となりました。

この結果、当第1四半期会計期間末の受注残高は期首に比べて669百万円増の10,559百万円となりました。

利益面においては、経常利益が271百万円（対前年同期比23.8%減）、四半期純利益は、169百万円（対前年同期比9.2%減）となり、いずれも前年同期を下回りました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末の総資産は、前期末と比べ645百万円減少の24,653百万円となりました。これは主として、投資有価証券が154百万円増加したものの、現金及び預金が154百万円、売上債権が223百万円、有価証券が500百万円減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前期末と比べ556百万円減少の5,559百万円となりました。これは主として、退職給付引当金が176百万円増加したものの、仕入債務が195百万円、賞与引当金が109百万円、未払法人税等が444百万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前期末と比べ88百万円減少の19,093百万円となりました。これは主として、四半期純利益169百万円、配当金の支払236百万円、退職給付に関する会計基準等の適用による減少120百万円により、利益剰余金が16,281百万円となったこと、また、その他有価証券評価差額金が305百万円（前期末と比べ99百万円の増加）となったこと等によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月期の業績予想は、平成26年7月8日公表のものに変更なく、売上高185億円、営業利益12億5千万円、経常利益14億円、当期純利益9億円の見通しとしました。価格競争が厳しいなか、一段の営業努力と生産性向上活動により年間計画の達成を目指す所存であります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

##### （退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首の退職給付引当金が187,373千円、繰延税金資産が66,779千円それぞれ増加し、利益剰余金が120,593千円減少しております。また、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ723千円減少しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,655,049	6,501,009
受取手形及び売掛金	6,489,787	6,280,242
電子記録債権	1,013,530	1,000,000
有価証券	600,560	100,241
商品及び製品	877,072	967,783
仕掛品	1,410,320	1,399,083
原材料及び貯蔵品	1,431,253	1,429,891
その他	727,309	755,325
貸倒引当金	△37,710	△36,620
流動資産合計	19,167,174	18,396,958
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,551,106	1,551,106
その他(純額)	1,772,816	1,747,714
有形固定資産合計	3,323,922	3,298,820
無形固定資産		
	31,611	28,934
投資その他の資産		
投資有価証券	2,600,637	2,755,372
その他	176,230	174,473
貸倒引当金	△1,467	△1,467
投資その他の資産合計	2,775,400	2,928,379
固定資産合計	6,130,934	6,256,134
資産合計	25,298,108	24,653,092
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,886,378	2,690,562
1年内返済予定の長期借入金	1,850,000	1,850,000
賞与引当金	218,000	109,000
製品保証引当金	110,000	106,500
未払法人税等	555,633	111,608
その他	346,515	376,952
流動負債合計	5,966,527	5,244,623
固定負債		
退職給付引当金	17,355	194,009
役員退職慰労引当金	45,160	45,160
資産除去債務	36,023	36,176
その他	51,129	39,466
固定負債合計	149,668	314,811
負債合計	6,116,195	5,559,435

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,150,000	1,150,000
資本剰余金	1,479,586	1,479,586
利益剰余金	16,469,042	16,281,825
自己株式	△122,345	△122,916
株主資本合計	18,976,283	18,788,495
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	205,629	305,161
評価・換算差額等合計	205,629	305,161
純資産合計	19,181,913	19,093,657
負債純資産合計	25,298,108	24,653,092

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	4,389,345	4,117,891
売上原価	3,673,768	3,477,381
売上総利益	715,577	640,510
販売費及び一般管理費	400,773	415,515
営業利益	314,803	224,994
営業外収益		
受取利息	10,046	4,794
受取配当金	17,251	19,852
不動産賃貸料	20,950	21,672
為替差益	—	2,180
雑収入	3,053	2,690
営業外収益合計	51,302	51,189
営業外費用		
支払利息	4,208	3,913
為替差損	5,018	—
雑損失	167	318
営業外費用合計	9,394	4,231
経常利益	356,711	271,953
特別損失		
投資有価証券評価損	48,867	—
特別損失合計	48,867	—
税引前四半期純利益	307,844	271,953
法人税等	121,044	102,281
四半期純利益	186,800	169,672

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、バルブ及び遠隔操作装置製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

1. 生産実績

(単位:千円)

期 別	26年5月期第1四半期 (25/6~25/8)		27年5月期第1四半期 (26/6~26/8)		26年5月期 (25/6~26/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	2,095,839	47.3	2,260,546	53.6	8,792,002	48.6
バタフライ弁	1,168,931	26.4	979,123	23.2	4,642,846	25.7
遠隔操作装置	1,166,619	26.3	977,069	23.2	4,657,704	25.7
合 計	4,431,389	100.0	4,216,738	100.0	18,092,552	100.0

2. 受注状況

受注高

(単位:千円)

期 別	26年5月期第1四半期 (25/6~25/8)		27年5月期第1四半期 (26/6~26/8)		26年5月期 (25/6~26/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	2,029,446	45.8	2,470,112	51.6	8,966,909	48.4
バタフライ弁	998,032	22.5	1,075,472	22.5	4,511,287	24.3
遠隔操作装置	1,402,708	31.7	1,241,995	25.9	5,061,627	27.3
合 計	4,430,186	100.0	4,787,579	100.0	18,539,823	100.0

受注残高

(単位:千円)

期 別	26年5月期第1四半期 (25/8)		27年5月期第1四半期 (26/8)		26年5月期 (26/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	4,447,986	45.5	4,789,001	45.4	4,526,444	45.8
バタフライ弁	2,620,632	26.8	2,693,528	25.5	2,574,227	26.0
遠隔操作装置	2,709,600	27.7	3,077,200	29.1	2,789,370	28.2
合 計	9,778,218	100.0	10,559,729	100.0	9,890,041	100.0

3. 販売実績

(単位:千円)

期 別	26年5月期第1四半期 (25/6~25/8)		27年5月期第1四半期 (26/6~26/8)		26年5月期 (25/6~26/5)	
	金 額	構成比%	金 額	構成比%	金 額	構成比%
自動調節弁	2,076,160	47.3	2,207,555	53.6	8,935,165	48.6
バタフライ弁	1,158,787	26.4	956,171	23.2	4,718,447	25.7
遠隔操作装置	1,154,398	26.3	954,165	23.2	4,733,547	25.7
合 計	4,389,345	100.0	4,117,891	100.0	18,387,159	100.0
うち輸出高	728,240	16.6	857,253	20.8	3,379,070	18.4